

# 阿南 ぶらりまち紀行 ～地域の輝き～

第122回

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見!



那賀川図書館ボランティア

那賀川図書館を訪れると、図書館前に広がる美しい庭園に目を引かれる。「阿波公方の苑」と名付けられたこの庭園は、色鮮やかに芝生が根付き、桜などの庭木は丁寧に入入れられていて、図書館利用者などの憩いの場となっている。この庭園で美化活動を行っているのが、「那賀川図書館ボランティア」の皆さん。

ボランティア参加者は、読書会や那賀川町女性会議、教員退職者の方々で、美しい図書館をめざして、庭園の美化作業を平成6年7月の開館から20年以上続けている。毎月決めた日に約10、20人が参加して、ゴミ拾いや草抜き、庭木の剪定などに精を出す。美しく整備された庭園は、心が休まると好評だ。また、チューリップやマリーゴールドなど四季折々の花をプランターに植え



て、図書館の玄関前を彩る。

開館当初から美化活動が続いている延 晃さん（84歳・那賀川町）は、「広い庭内を掃除したり、手入れしたりするのは骨が折れますが、愛着がある図書館を気持ちよく利用してほしいので、今後もできるだけ続けていきたいですね」と図書館にかける思いを熱く語る。

那賀川町はかつて阿波公方より伝えられた学問文化が栄えた。学問が行われていたのは、阿波公方屋敷敷地内にある学問所「栖竜閣」であった。参加する皆さんは、那賀川図書館を「現代の栖竜閣」として県南部における文化の中心的役割を担ってほしいと活動を行っている。

阿波公方が蒔いた文化を愛する心は、脈々と後生に受け継がれている。

